

令和5年度
事業計画書

社会福祉法人 あすなろ会
石津川保育園

令和5年度に向けて

この3年間はコロナ禍にみまわれ、行事の見直しや保育園の運営の仕方など考えるいい機会となりました。でもその一方で保護者の方に保育園での子どもの様子を見に来てもらう機会が減り、園の考えや守ってほしいことが伝わりづらくもなりました。また、グレーゾーンと呼ばれる『ちょっと気になる子』も年々増えてきたように感じます。

保護者の中には子どもとの関わり方の分からない保護者やなんでも保育園任せの保護者が目立っています。令和5年度は保育参加や保育参観を増やし、集団での子どもの様子を見てもらったり、保育者の関わりを見てもらおうと思います。家庭で、おもちゃを与えるだけでなく、子どもと関わる楽しさやしつけとして教えないといけないこと(挨拶や食事のマナーなど)、子どもたちにとって今何が大切かを保護者の方に伝えていけたら…と思います。

また、『ちょっと気になる子』に関しては、保育参加を通して、集団でのお子さまを見てもらったり、個人懇談を密に行うことで、保護者が自分で気付き、必要な支援につなげていけるようにしていきたいと思います。

そのためには職員も専門知識を広げ、定期的に研修や勉強会などを行い、個人だけでなく、チームとして職員がお互いに助け合えるような環境づくりを目指していきたいと思います。そして全職員で保育園の子どもたちの成長、その保護者をしっかり見守っていききたいと思います。

令和5年度は25名の子どもたちが入園してきます。新入園児の保護者の方も「この保育園を選んで良かった」と安心して子どもを預けられるよう努めていきたいと思います。巣立った子どもたちが困ったときに「ただいま!!」と頼れる場所でもあるようにしたいと思います。職員一同思いやりの心と感謝の気持ちを忘れず、令和5年度も石津川保育園らしい保育をしていきたいと思います。

《保育園の概要》

施設名 社会福祉法人 あすなろ会 石津川保育園
所在地 堺市西区浜寺石津町東3丁6-25

①定員 120名 生後3ヶ月の乳児から就学前の幼児

②利用日・時間

開園日・時間 月～土曜日 午前7時から午後7時まで
休園日 日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する
年末・年始休暇日…12月30日から翌年1月4日まで

《教育・保育理念》

- ・ひとりひとりの子どもを大切に、「感謝の気持ち」「相手を思いやる心」を持つ子どもに育てる
- ・保護者に信頼される温かな支援を心掛け、また「社会貢献している女性の就労」への支援も積極的に行う
- ・地域、家庭との協力をもとに、「地域の子育て」の支援の充実を図る
- ・上記を実現するために、職員は豊かな愛情を持って接し、知識の習得と技術の向上、さらには自らの人間的な成長に努める

《教育・保育方針》

- ・一人ひとりを大切に、大人に可愛がられ友達との関わりの中で、心地よい生活ができるようにします。
- ・保護者の気持ちを理解し、信頼関係を築き、連携を深めていきます。
- ・地域社会の人々と交流を深め、保育ニーズを受け入れ、在宅子育てを行います。

《教育・保育目標》

- ・健康な心と体をつくる
- ・保育教諭や友達との生活を楽しむ
- ・豊かな表現力とことばを身につける
- ・好きな遊びを十分にやる
- ・豊かな感性と好奇心を育てる
- ・いろいろな人と関わり、思いやりをもつ

《保育内容》

(0歳児) ・一人ひとりの生理的欲求を満たし、生活のリズムになじむ。

・適切な養護と安全を図りながら、お座りやハイハイ、つかまり立ちなどの基礎体力となる運動をする。

・大人との安定した情緒的な人間関係が満たされ人に関わる。

・自然物や玩具など、物を見たり触ったりして興味をもつ。

(1歳児) ・食事や排せつ、睡眠などの生活活動にやる気をもつ。

・自然や身近な用具、玩具に興味や関心をもち、試したりする。

・経験を通して言葉を覚え、言葉を使った遊びが少しできる。

・感情を素直に表現して機嫌よく過ごし、友達との関わりが始まる。

・歩行が完成し、目的をもった身体の働きが出来る。

- (2歳児) ・安心できる保育者との関係のもとで食事、排泄、着脱など簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- ・自分の気持ちを素直に表現し、自己発揮し友達と一緒に好きな遊びを意欲的に行う。
- (3歳児) ・基本的な生活の仕方がわかり、自分からしようとする。
- ・元気に遊びながら、身のこなし方を覚え、活発に運動する。
 - ・保育者や友達と色々な関わりをもちながら集団生活に必要な決まりを知り、遊びを楽しむ。
 - ・自分のやりたい事や感じた事を言葉で伝えたり、様々な活動で表現する。
- (4歳児) ・集団生活に慣れ、喜んで色々な活動に取り組む。
- ・経験を通して、生活に必要な言葉を覚える。
 - ・日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
 - ・身近な社会や自然の出来事に興味や関心をもち、見たり触れたりする。
- (5歳児) ・集団生活を楽しみ、色々な遊びを活発に行うとともに基本的な生活や態度を身につける。
- ・自然や身近な事象に興味や関心をもち、豊かな心情や知的好奇心を高める。
 - ・友達同士の関わり合いを深め、意欲的・創造的に遊びや活動に取り組み充実感を味わう。
 - ・小学校に期待をもって卒園する。

《縦割り保育》

『温かい家庭』を考えた時に子どもが同年齢でいるより異年齢でいる方が自然であるという考えから職員間でも何度も話し合い、必要性を検討してきました。

昭和62年4月より本格的に縦割り保育を始め、子ども達が遊びや生活を通して互いに関わり刺激し、成長し合って、労りや思いやりが育っているように思います。5歳児が寝ている3歳児を起こすときも、初めはどうしていいのかわからず戸惑う姿もありますが、子どもなりに考え、関わり方を学んでいます。また年上児がしていること（例えば…跳び箱や縄跳びなど）を見て、憧れを持つ姿も見られます。

お兄ちゃん、お姉ちゃんにお世話をしてもらい、たくさん甘えた分、自分より年下の子に対して自分がされたようにお世話を進んでする姿がみられます。自然と思いやりの気持ちが育っていると感じる瞬間です。

子どもの集団としての人数を考えた場合、20人前後のクラスにしています。

《延長保育》

朝7時～7時30分は早朝延長保育、18時30分～19時は夜間延長保育をしています。

延長保育児にとっては長時間での保育になるので豊かで安定した気持ちで、生活できるように家庭的な保育を心がけ配慮する。

《障がい児保育》

最近発達障がいやグレーゾーンと言われる子どもたちが増えてきました。障がいがあるなしに関わらず、どの子にも分かりやすい言葉かけや見て分かるように絵カードを用いるなど、保育の工夫をしていきたいと思えます。

また様々な障がいをもつ子どもに対応できるように保育者が知識を習得、専門機関と連携を密にし、子どもを丸ごと受け入れ、子ども仲間も保育者もともに育つという気持ちで生活する。

《給食》

本園独自のメニューで手作りの給食・おやつを提供しています。子どもが口に入れるものなので、食材にこだわり、『野菜』を多く取り入れ、新陳代謝の促進や風邪予防にニンニクを入れています。また咀嚼をしっかりとできるような昆布や煮干しなども提供しています。

0歳児の離乳食は専門の職員がその子に応じた段階（中期・後期・完了）の献立を提供しています。

アレルギーのある子に関しては病院で検査をして医師の意見書を提出（1年に1回）してもらっています。そして園長・主任・看護師・主任調理師・保護者でアレルギーの確認をし、全職員が周知するようにしています。ボードに今日の子どもの人数、アレルギー児の出欠をわかりやすく明記したり、配膳でもメニューの確認・配膳の確認を何重にも行って、誤飲・誤食をしないように心掛けています。

コロナ感染対策として真ん中につい立てを置いたり、黙食をしていましたが、社会情勢をみながら、元のレストラン形式に戻していけたら…と思っています。

◎本園独自のレストラン形式

本来、本園では11時半～13時までレストラン（幼児クラスの給食）を開店。子ども達が自分で食べたい時にチケットを持って、レストランに来て給食を食べます。保育園でたくさん遊び、「お腹が空いた」と空腹感を感じ、自分たちで時計を見ながら、年下児を誘い、楽しく食事をする事で満足感も満たされます。ここ2年ほどはコロナ禍で楽しんで食べるができなくなっています。以前のようにみんなでワイワイと楽しい雰囲気食べられる日が来ることを願っています。最近、世の中が豊かになり、食べ物の意欲が失われているようですが石津川保育園では早くより食育に目を向け、日本食（和食）を多く取り入れ、野菜もたくさん摂っています。おかわりもたくさんしてくれています。年長児が順番にレストラン当番もします。

給食を食べ終わると調理室につながる窓口まで食器を自分で下げます。その時に調理の先生たちに「ごちそうさま。おいしかったよ。」と自然と子どもたちが伝えています。この時間は子どもたちと調理師たちの楽しいひと時です。

《栄養管理》

- ①入所乳幼児の健全な発育に必要な栄養量を含むバランスの摂れた給食を衛生面に気を付けて実施する。
- ②食品の素材を生かすように薄味に心掛ける。
- ③寒い時は出来るだけ温かいものを温かいうちに配膳するタイミングも考え、保育者と厨房職員が一体となって、子どもの喜ぶ給食づくりに励む。
- ④食物アレルギーの子どもへの除去食など配慮し、栄養が偏らないようにする。
- ⑤食育としてクッキングを取り入れ、食材に触れたり、調理する過程の大切さを知る。

《防災》

日本中で最近、頻繁に地震が起こっています。雨による洪水や噴火もあり、いつ大阪でも大きな地震が起こるか分かりません。職員自身がどんな時でも冷静に判断し、避難指示を子どもたちにできるようにしていきたいと思います。昨年もしたようにいろんな時間帯でいろんな場面での災害を想定して、避難訓練を行い、反省をもとに、マニュアルを作りたいと思います。

さらに職員と園児で『防災デー』という行事を通して、防災について考える日を令和5年度もしようと思います。

《地域対策》

家庭や地域との連帯を密にとりながら特に保護者に協力を得て、保育運営に取り組みます。地域との協力関係を良好に保つために、下記のことを行います。

●園庭開放

月1回、園庭を開放し、地域の未就学園児とその保護者で遊びに来てもらいます。園見学も兼ね、園の様子や在園児の様子を見てもらうため、1歳児クラスと一緒に園庭やベランダでゆっくり遊んでもらおうと思っています。その際、保護者の方の悩みなども聞き、保護者の方のリフレッシュになるようにしたいと思います。

●おじいちゃん・おばあちゃんの集い（敬老交流会）

4・5歳児を対象にコロナ禍前は実施していたが、この3年は中止が続いています。令和5年度は保育園に来ていただき、昔の遊びを教えていただいたり、ふれあい遊びをできる限りやりたいと思います。

●地域交流会

石津校区にある公民館で地域の高齢者の方がしている『いきいきサロン』に年に1度、交流をしに行きます。

●公民館

4か月に1度、公民館の『にこにこ広場』に本園の職員が行き、地域の親子さんと遊んだり、子育ての相談にのっています。

●一時保育サービス

保護者のパート就労により家庭での保育が困難となる場合は週1～3日、保護者の疾病・災害・事故・冠婚葬祭などにより緊急・一時的に家庭での保育が困難となる場合は1か月以内、また保護者の育児に伴う私的な理由（リフレッシュ等）で一時的に保育が必要になる場合、園に相談していただき利用します。コロナ禍で思うように外に出れず、悩みを1人で抱え込んだり、子育てにストレスを感じてしまう家庭も多くみられると思うので、そういう家庭の受け皿となれるよう申し込みの時点（または面接の時）でじっくり話を聞き安心して利用してもらえるように心がけています。一時保育＝入園申し込みにつながるようにしていきたいと思っています。

●苦情解決事業

苦情解決の体制を整え、利用者等からの苦情の適切な解決を図る。また苦情内容・解決策等をホームページに載せ、保護者に周知する。

日々の小さい苦情などもノートに書き留め、改善を図っていき、地域にとっても安心できる保育園にしていきたい。

石津川保育園における保健活動

【目的】

保育園は、子ども達が健康な毎日を送るための生活の場です。同時に、子ども達の集まる場所ゆえに病気が発生しやすい所でもあります。保健活動は日々の体調の変化をいち早く把握することで子ども達の心身の健康を守り、病気の発生や蔓延を最小限に食い止める目的があります。また、長期的な成長段階をみていくことで子ども達がそれぞれのペースでしっかりと成長していることを見守っていくことも大切な目的としています。

【取り組み】

毎日の園児の体調を確認し、体調の悪い園児や怪我をした園児の手当て、必要時には医療機関への受診を行っています。毎月の保健日よりで保健活動を保護者の方に事前にお知らせしています。また、各検査結果については個人情報保護を徹底しお知らせして必要時には医療機関での精密検査をおすすめしています。園児だけでなく職員においても年2回の健康診断などで健康管理に努めていただいています。

感染面については、日々の手洗いを徹底し食事前には職員・園児共にアルコールでの手指消毒を行っています。流行性の感染症などについては登園許可証を用いて感染症の拡大がないように管理しています。また流行性感染症の診断が一定数（10人）を超えて出た場合には保健所へ速やかに報告(今年度は2月にインフルエンザ報告済)、同時に地域での感染の程度なども感染症情報収集システムで確認し、感染拡大のないように努めています。また、予防接種確認票を用いて予防接種の進み具合などを個別で確認し、必要時は接種の促しを行っています。検便では調乳・給食担当の職員につきましては2回/月、保育担当・一般職員には1回/月を実施し結果を確認しています。

食事面では定期的に医師の記載のあるアレルギー意見書を保護者より提出していただき、それを基に給食成分表を参照しながらアレルギーを持つ園児の食事の確認を行い、調理室と相談し、各クラスの誤食防止に努め、今年度の誤食ゼロです。また、新入园児についても入园後にトラブルのないようにアレルギーの有無や程度などを事前に個別に確認させていただいています。

令和5年度 保健年間計画

	目 標	保健行事	指導内容及び留意点	衛生環境及び指導
4月	新しい生活に慣れる	身体計測（毎月） 内科健康診断	個人の健康把握（生育暦、既往歴） 予防接種の勧奨（年間を通して行う）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内安全、衛生点検 ・ 離乳食離・アレルギー除去食児の対応 ・ SIDSの対応の確認 （心肺蘇生法を含む） ・ 布団日光消毒 ・ 頭じらみの点検 ・ 害虫駆除 （樹木・室内随時） ・ 冷房の温度調節 ・ 猫対策（随時） ・ 紫外線への配慮 ・ 光化学スモッグ発生時の対応 ・ 宿泊保育前の環境整備 ・ プール安全点検 ・ プール水質検査 ・ 運動会前の運動場、体育 遊具等の安全点検 ・ 暖房器具の安全点検 ・ 暖房の温度、湿度調節 ・ 室内の換気 ・ 感染症情報収集システム への入力（毎日）
5月	基本的な生活習慣を身につける		新入園児のからだづくり開始 手洗い、うがいの指導 生活習慣の点検（朝食、睡眠、排便等）	
6月	歯を大切にす 梅雨時の衛生に気をつける	歯科健康診断	正しい歯ブラシの使い方、おやつ の食べ方、身体 の清潔、しらみ発生の有無確認 食中毒の予防	
7月	夏の健康に気をつける	アレルギー意見書 の期限確認・必要児 は再提出	規則正しい生活（朝食、睡眠等） プール期間中は、特に朝の健康観察を大切にす る（目、耳、鼻、のど、皮膚等） 帽子をかぶる 汗の始末 日焼け・虫刺され対策 冷房時の室温の管理 扇風機の使い方	
8月				
9月	目を大切にす	聴力検査	規則正しい生活（早寝、早起き） 聴力検査の受け方	
10月	生活リズムを整える	視力検査	規則正しい生活（早寝、早起き） 聴力検査の受け方	
11月	寒さに向かい身体をきたえる	内科健康診断	衣服調節	
12月	戸外で元気に遊ぶ	検尿	乾燥肌の予防（ハンドクリーム等）、 風邪の予防、手洗い・うがいの励行	
1月	冬の健康に気をつける	予防接種確認票配布・回収	かぜの予防規則正しい生活、インフルエンザ予防 午睡中の加湿の配慮 手洗い・うがいの励行	
2月	寒さに負けず元気に遊ぶ	聴・視力再検査 新入園児保健面接	できるだけ戸外で遊ぶ、手洗い・うがいの励行 アレルギー意見書の確認・再提出	
3月	生活習慣の総点検	意見書配布・回収	洗顔、歯みがき、手洗い、うがい、爪切り、髪 の手入れ、耳掃除について	

※内科健康診断は、年2回、0歳児クラス～5歳児クラス

※歯科健康診断は、年1回、1歳児クラス～5歳児クラス

※聴力検査、視力検査は、年間1回、4歳児クラス～5歳児クラス

（理解力の関係や精査後の再検査は必要児のみ追加で2・3月に行う）

※検尿は、年1回、3歳児クラス～5歳児クラス

令和4年度 ヒヤリハット・事故記録まとめ

令和4年度（R4.1～R4.12）の一年間での事故・ヒヤリハットは11件です。そのうち病院受診に至った件数は10件で、病院受診に至ったケースでの内訳は園児間のトラブルによる目の充血1件、転倒による打撲・裂傷2件、転倒による歯科受診2件、誘因のない脱臼2件、水筒落下による打撲1件、噛みつき1件、園庭での怪我1件です。

病院受診までは至らなかったヒヤリハット・アクシデント内容・内訳は散歩中の飛び出し未遂1件となっています。

誤食については事前のアレルギー食の確認、保育者同士での声掛け、日常的なアレルギーの把握（アレルギー意見書の見直し）、調理室との連携・食材の確認の強化を行い、誤食事故なく経過しています。

転倒に関しては見守りを強化することや視野を広く持つこと、園児の歩行状態の確認、周囲の安全確認の徹底、走り回っている、本来の意図とは違う遊び方をしている様子などあればすぐに声掛けを行い注意を促すなどが改善策としてあげられています。

脱臼に関しては同じ動きをしても脱臼する子としない子がおり、脱臼しやすい子に対して特に動きに注意すること、また痛い時にはすぐに保育者へ相談にこるよう伝えることなどが改善策としてあげられています。

水筒の落下については箱にいれるようにするなど次年度より改善する予定です。

令和5年度 衛生・安全計画

衛生		安全		
月	計画	ねらい	計画	ねらい
4月	<ul style="list-style-type: none"> 内科検診 頭じらみ検査 爪検査 (年間) 玩具消毒 (年間) 	<ul style="list-style-type: none"> 5月よりスライミング開始の為、4、5歳児検査を行う。 ひっかき傷や爪が割れて怪我がないようにする。 園児への感染症を防ぐため、玩具の消毒を行う。(特に乳児は適宜行う。) 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 (土曜保育) (火災) 出火場所：2階調乳室 安全チェック (毎月) 日よけ設置 (園庭、2階ベランダ) 蚊よけ (園外) ※10月まで 	<ul style="list-style-type: none"> 少数での職員役割・流れを知る。 第一発見者の声掛けで避難する。 室内や園庭、ベランダの遊具の安全性を調べ、園児への安全を確保する。(特に室内の危険性を伴う箇所がある時は担任間で話し合い、危険性をなくす。) 園児への暑さ対策や紫外線への防止対策。 月1 or 2回程度、保育園周辺のマダマに蚊よけの薬を入れて、蚊の発生を防ぐ。
5月	<ul style="list-style-type: none"> 扇風機、エアコン清掃 (5月～3月ころまで) 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の環境美化 安全性への点検も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 (夕方) (地震→火災) 出火場所：1階調乳室 水分補給 (9月末まで) (ボカエリスエソット補給) 	<ul style="list-style-type: none"> 園児の人数確認。ドアを開放しておく。 地震時、物が落ちてくる所に近寄らない。(常に整理) 0、1歳児への避難のヘルプ 事前にホワイトボードにお知らせを貼り出す。 朝、夕方の園庭遊びの間に水分補給を入れる。 静と動の時間を入れる。 朝、夕の視察をしつかり行う。看護師との連携。
6月	<ul style="list-style-type: none"> 歯科検診 頭じらみ、水いぼ検査 	<ul style="list-style-type: none"> 6月より水遊びが始まるので全園児に検査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 (幼児) シャワー、水遊び (6月～9月中旬まで) 消防訓練 (火災) 出火場所：2階調乳室 (※ 自主訓練) 	<ul style="list-style-type: none"> 散歩時、交通ルールや危険性を園児に伝える。 子どもへの健康チェック (視診) を行う。 2名以上の職員の配置。笛の持参。 年少児のお着替えの仕方・補助 保護者への準備物のお知らせ 職員間の連携。避難車を園庭に出す。 園児を安全に速やかに避難場所まで誘導する。
7月			<ul style="list-style-type: none"> 水遊び (※8月末まで) 水分補給 AED訓練 (園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 園児の健康チェック (視診) を行う。 2名以上の職員の配置。笛の持参。 園児ひとりひとりの体調を把握する。 室内遊びでもこまめに水分補給を行う。 室内の気温、湿度など常に気を付ける。 異年齢での水遊びでのお約束を守る。 水遊びでの職員間の連携・役割分担 活動の間に水分補給を行う。 寝る時や活動中は適宜にエアコンを入れる。 脱水症状を防ぐため、体温調節を行う。 職員の役割分担や流れを学ぶ。 心肺蘇生法&AEDの使い方を学ぶ。

令和5年度 衛生・安全計画

衛生		安全	
月	計画	ねらい	配慮
7月			<p>蚊よけ対策（園内） （※11月上旬まで）</p> <p>台風・大雨対策 （10月まで）</p> <p>防災デー 避難訓練（地震→津波）</p>
7月			<p>蚊よけ対策（園内） （※11月上旬まで）</p> <p>台風・大雨対策 （10月まで）</p> <p>防災デー 避難訓練（地震→津波）</p>
8月	各部屋清掃	<ul style="list-style-type: none"> お盆保育中に机や椅子など清掃する。 （※普段できないような所を行う。） 	<p>園内における蚊への対処を行う。</p> <p>台風・大雨が来る前に事前に安全確認をする。</p> <p>災害について体験し、学ぶ。</p> <p>災害用の靴や帽子を破り、避難する。</p> <p>園児を安全に迅速に誘導する。</p> <p>戦争と平和について考える。</p> <p>必要、不必要が精査し、整理する。</p> <p>必要なものを補充する。</p> <p>賞味期限の確認。</p>
8月	各部屋清掃	<ul style="list-style-type: none"> お盆保育中に机や椅子など清掃する。 （※普段できないような所を行う。） 	<p>園内における蚊への対処を行う。</p> <p>台風・大雨が来る前に事前に安全確認をする。</p> <p>災害について体験し、学ぶ。</p> <p>災害用の靴や帽子を破り、避難する。</p> <p>園児を安全に迅速に誘導する。</p> <p>戦争と平和について考える。</p> <p>必要、不必要が精査し、整理する。</p> <p>必要なものを補充する。</p> <p>賞味期限の確認。</p>
9月	視力検査（幼児）	<ul style="list-style-type: none"> 両目の視力を検査し視力を確認する。 （理解を考慮する。） 	<p>大阪100万人訓練 （※避難訓練） 地震→火災→津波 出火場所：2階調乳室</p> <p>竜巻対策</p>
9月	視力検査（幼児）	<ul style="list-style-type: none"> 両目の視力を検査し視力を確認する。 （理解を考慮する。） 	<p>大阪100万人訓練 （※避難訓練） 地震→火災→津波 出火場所：2階調乳室</p> <p>竜巻対策</p>
9月	聴力検査（4、5歳児） 嘔吐セットの確認	<ul style="list-style-type: none"> 機械を使用して、両耳の聴力を検査し、聴力を確認する。 感染症が流行る時期の前に準備・確認を行い、職員全員が適切に処理できるようにしておく。 	<p>避難場所まで落ち着いて迅速に誘導する。</p> <p>避難場所での人数確認と怪我の有無など。</p> <p>各部屋、トイレなど最終確認をする。</p> <p>ローカルカーテンなどガラスが飛んでくことへの対処。また、園児に布団や毛布などを掛ける。</p> <p>職員の役割分担と連携をしっかりと行う。</p> <p>広域避難場所まで安全に迅速に避難誘導する。</p> <p>園内の最終確認をしっかりと行う。</p> <p>担任が確認をしっかりと行う。</p> <p>安全確認を行う前に、職員でもしっかりと見て気になる箇所があれば業者にお伝えする。</p>
9月	聴力検査（4、5歳児） 嘔吐セットの確認	<ul style="list-style-type: none"> 機械を使用して、両耳の聴力を検査し、聴力を確認する。 感染症が流行る時期の前に準備・確認を行い、職員全員が適切に処理できるようにしておく。 	<p>避難場所まで落ち着いて迅速に誘導する。</p> <p>避難場所での人数確認と怪我の有無など。</p> <p>各部屋、トイレなど最終確認をする。</p> <p>ローカルカーテンなどガラスが飛んでくことへの対処。また、園児に布団や毛布などを掛ける。</p> <p>職員の役割分担と連携をしっかりと行う。</p> <p>広域避難場所まで安全に迅速に避難誘導する。</p> <p>園内の最終確認をしっかりと行う。</p> <p>担任が確認をしっかりと行う。</p> <p>安全確認を行う前に、職員でもしっかりと見て気になる箇所があれば業者にお伝えする。</p>
10月	予防接種確認表配布（※年長児のみ）		<p>避難訓練（大火災） ※広域避難場所まで避難する。 出火場所：1階調理室 緊急連絡先カード確認</p> <p>遊具の安全確認</p>
10月	予防接種確認表配布（※年長児のみ）		<p>避難訓練（大火災） ※広域避難場所まで避難する。 出火場所：1階調理室 緊急連絡先カード確認</p> <p>遊具の安全確認</p>
10月	聴力検査	<ul style="list-style-type: none"> 機械を使用して、両耳の聴力を検査し、聴力を確認する。 感染症が流行る時期の前に準備・確認を行い、職員全員が適切に処理できるようにしておく。 	<p>平常と違った環境でも慌てず、機敏に行動する。</p> <p>お迎えに来た保護者にも参加してもらおう。</p>
10月	聴力検査	<ul style="list-style-type: none"> 機械を使用して、両耳の聴力を検査し、聴力を確認する。 感染症が流行る時期の前に準備・確認を行い、職員全員が適切に処理できるようにしておく。 	<p>平常と違った環境でも慌てず、機敏に行動する。</p> <p>お迎えに来た保護者にも参加してもらおう。</p>
10月	感染症対策（3月末） ※インフルエンザ ※ロタウイルス、胃腸炎など	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大を防ぐためお部屋の消毒を徹底する。 また、玩具の消毒も徹底する。 	<p>保護者に緊急連絡先カードの確認を行い、変更があれば書き直してもらおう。</p> <p>遊具の安全を業者に依頼し、遊具の強度などを調べてもらおう。</p>
10月	感染症対策（3月末） ※インフルエンザ ※ロタウイルス、胃腸炎など	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大を防ぐためお部屋の消毒を徹底する。 また、玩具の消毒も徹底する。 	<p>保護者に緊急連絡先カードの確認を行い、変更があれば書き直してもらおう。</p> <p>遊具の安全を業者に依頼し、遊具の強度などを調べてもらおう。</p>
11月	内科検診	<ul style="list-style-type: none"> 事前に体調の悪い園児は、他児と隔離する。（休んで頂くこともありうる） 下痢を3回以上/日している園児には保護者に連絡し、病院受診をしてもらおう。 嘔吐をした場合は、換気を十分に行い、ピュエラックスで消毒を行う。 異常がある場合は、看護師より個別に保護者にお伝えする。 	<p>避難訓練（火災） ※土曜保育（夕方実施） 出火場所：2階調理室 目よけを外し、片付ける。</p>
11月	内科検診	<ul style="list-style-type: none"> 事前に体調の悪い園児は、他児と隔離する。（休んで頂くこともありうる） 下痢を3回以上/日している園児には保護者に連絡し、病院受診をしてもらおう。 嘔吐をした場合は、換気を十分に行い、ピュエラックスで消毒を行う。 異常がある場合は、看護師より個別に保護者にお伝えする。 	<p>避難訓練（火災） ※土曜保育（夕方実施） 出火場所：2階調理室 目よけを外し、片付ける。</p>

令和5年度 衛生・安全計画

衛生		安全				
月	計画	ねらい	配慮			
12月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策 エアコン清掃 各部屋清掃・整理 検尿検査 嘔吐処理 (園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 園児の体調をしっかりと把握する。 エアコンフィルターの掃除を行い、換気をよくする。(ピュア・エアーも) 希望保育期間中に、普段でない所を掃除する。また、断捨離も行う。 尿のたんぱくなどを調べる。(潜血、たんぱく、pH) 嘔吐処理の仕方を知り、身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 喉の受け取りの時に保護者にお子さんの体調をしっかりと聞く。 園児がいないときに行う。(喘息もちの園児には気を付ける。) 異常がある場合は、文章と一緒に保護者にお伝えし、病院受診をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練(火災) ※口頭での火災発生を伝える 出火場所：1階事務所 AED訓練 (園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 声かけだけで緊急の事態が分かり、避難する。 火災の怖さや暖房器具の危険なことを知る。 職員の役割分担や流れを学ぶ。 心肺蘇生法&AEDの使い方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳児は、2階ベランダ外階段から避難するので職員へのヘルプを要する。 園庭奥まで避難誘導する。 固定電話が使用できないので、携帯電話から119番通報を行う。
1月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策 予防接種確認表再配布 (※年長児以外) 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザなど現在の人数を掲示する。 同じ感染症が10人以上上出た場合は、感染症センターへ報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザなど現在の人数を掲示する。 同じ感染症が10人以上上出た場合は、感染症センターへ報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 (地震→火災) 出火場所：1階調乳室 ★阪神淡路大震災 不審者対応訓練 (園内研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災を想定。 どこにいても何をしても慌てず、近くの保育者の所で素早く身を守り、避難する。 災害用の靴や帽子を被り、避難する。 不審者への対応 さすまた講習、簡単な武術 	<ul style="list-style-type: none"> お話、絵本を通して地震の怖さを伝える。 近くの園児を集め、安全を確認しながら人教を把握する。教急が一つ、災害バッグの持参。 避難口(ドア)を開ける。電気、ガスを消す。
2月	<ul style="list-style-type: none"> 視力、聴力再検査 感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の検査で引っかかった園児に再検査を行い、前回と比較・確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回も異常がある園児には、個別に看護師よりお伝えし、必要時には病院受診を勧める。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練(火災) ※自主訓練 出火場所：2階調乳室 交通安全教室 防犯訓練 (自主訓練) 災害バッグの確認 非常食の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 119番通報の流れを知る。 安全を確認しながら初期消火をする。 園内の最終確認をする。 年長児が一人で模擬道路を歩く練習を行う。 交通ルールの確認。標識の意味など。 緊急放送を聴き、園児を素早く安全な場所に避難誘導する。 さすまたの使い方。 必要、不必要か精査し、整理する。 足りないものを補充する。 賞味期限の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 各々の役割分担を把握し、園児を避難誘導する。 年長児が一人で歩けるように戸惑ったりした時は答えを見つけ出すように問いかける。 不審者侵入を想定し、職員間の合言葉を確認する。 自分の役割を把握し、実行する。 園児に不安や動揺を与えないように受け止める。 破損していないか確認を行う。
3月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策 年度末清掃、整理 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末に向けて、お部屋の清掃、玩具の整理、整頓を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 玩具で、不要なものや危ないものは捨てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 ※地震→火災→津波 出火場所：1階調乳室 ★東日本大震災 	<ul style="list-style-type: none"> 放送を聴いて、自分の身を守る(幼児)園児に毛布や掛布団などかけて守る。(0、1歳児) 保育園3階ホールを目指し、素早く安全に避難する。 災害用の靴や帽子を被り、避難する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の話を絵本などを使って、地震や津波の恐ろしさを伝える。(幼児) 災害バッグなど持ってくる。 また、非常時災害のために非常食の用意をしておく。水などためておいたり、ペットボトルに入れて用意をする。 避難口(ドア)を開ける。電気、ガスを消す。

